

<会員による自著紹介> * 紹介者である会員

グループワークで日本語表現力アップ

野田春美¹⁾・岡村裕美^{2)*}・米田真理子³⁾・
辻野あらと⁴⁾・藤本真理子⁵⁾・
稲葉小由紀⁶⁾ (著)

1), 2), 3), 4), 6) 神戸学院大学・5) 尾道市立大学

ひつじ書房 (2016年発行)

定価 1,400円 (税別)



本テキストは、大学1年生の「文章表現」や「日本語表現」などの科目において、グループワークをはじめとしたアクティブ・ラーニングの手法を活用しながら文章表現力を身につけることを目的に作成しました。文章や表記の基本的なルールからアカデミック・ライティングまで、総合的に文章表現力を身につけることができます。

第1部は「情報発信力アップ」「コミュニケーション力アップ」「アピール力アップ」という3つのステージに分かれています。ステージの最初の「表現の基礎」という課で、表記や言葉づかい、読みやすい文など基本的なことを確認します。そして、メニューやメモ、注意書き、メール、手紙文など身近な文章を素材として、表現の多様性と読む人にとってわかりやすい文章の書き方を学びます。また、「この課の目標」や「振り返り」、ステージごとの「まとめ」が設けられており、学生が「いま自分が何を学んでいるのか」を確認しながら進められるようになっています。

第2部では、第1部で学んだことをふまえつつ、アカデミック・ライティングについて学びます。レポートのテーマ設定、情報収集、引用など、各課で基本的なルールを学びながら作業を進め、レポートを書き上げる力を身につけます。レポートを書く過程にも、グループワークやプレゼンテーションを取り入れることを推奨しています。

第1部と第2部の最後には、それまでに学んだことをいかして自分を客観的に表現するために、自己PRを学ぶ課を設けています。

さらに、学生が文章表現力と社会生活とのつながりを意識できるように、社会人を対象としたアンケートの結果をテキストの随所に掲載しています。アンケートは、一般企業に勤める会社員、公務員など597名を対象としたもので、社会人に必要な文章力とは何かを調査したものです。

学生が学ぶことの必要性を感じながら、主体的に文章表現力を身につけることができるテキストになっています。